

7 RULES

セブンルール テストマネージャたちの素顔

JaSST'21 Tokyo Track 03 C6 企画セッション 3.16 Tue.10:00~11:30

ゆもつよ 7つのルール

スクラムチームの一員としてテストするようになったいまの
My (QAはこうやってチームの一員としてテストしてこう) 7ルール

1. 最初にテストケースの構成を用意する
 - ・ (どんな時でも変わらない) テスト対象を理解する第一歩
 - ・ テスト対象プロダクト全体の中のどこをテストしてるかわかるようにする
2. テスト計画書は短時間で作る (文書化)
 - ・ 文書にできるようにいろいろ段取りして、書くときは一気に書く
 - ・ スクラムチームのみんなに周知する
3. テストケースの粒度が違っててもよい
 - ・ 何をテストしたいかがわかることの方がもっと重要
 - ・ どんなことを確認したいのか言えるようにする
4. テストケースには細かい手順を書かない
 - ・ 細かいこと書いてなくてもテストできる程度にドメイン知識を身につける
 - ・ 細かいことは変わるので文書にせず、結果を記録する
5. テスト実行単位を小さくしてどんどんテストしてく
 - ・ ビッグバンテストからの卒業
 - ・ チケット単位のテストができるように、チケットの切り方やスプリントへの載せ方に要望を出す
6. エビデンスは身を守るため
 - ・ エビデンス (画面ショット) を残すことはそれほど悪いことじゃない、むしろ説明責任を果たすため大事
 - ・ 誰も見ることがない、無駄な保管方法をやめる
7. 欠陥レポートの内容をあえてみんなで会話
 - ・ (どんなときも変わらない) 停滞しないように！転がし続ける！
 - ・ デイリー、Slackなど手段はなんでもよいので「あえて」話題にする

ルール1

テストケースの構成を用意

(どんな時でも変わらない) テスト対象を理解する第一歩
テスト対象プロダクト全体の中のどこをテストしてるかわかるようにする

ルール2

テスト計画書は短時間で文書化

文書にできるよういろいろ段取りして、書くときは一気に書く
みんな（開発者、プロダクトマネージャー、UXデザイナー）に周知する

ルール3

テストケースの粒度は違ってよい

何をテストしたいかがわかることの方がもっと重要

「どんなことを確認したいのか」をいつでも言えるようにする

ルール4 テストケースの細かい手順を

細かいこと書いてなくてもテストできる程度にドメイン知識を身につける

「細かいことは変わる！」ので文書にせず、結果を記録する

ルール5 テスト実行単位を小さくし

ビッグバンテストからの卒業

チケット単位のテストができるように、チケットの切り方やスプリントへの載せ方に要望を出す

ルール6 エビデンスは身を守るため

エビデンス（画面ショット）を残すことはそれほど悪いことじゃないむしろ説明責任を果たすため大事
誰も見ることがない、無駄な保管方法をやめる

ルール7

欠陥の内容をあえて話題にする

(どんなときも変わらない) 停滞しないように！転がし続ける！

デイリー、Slackなど手段はなんでもよいので「あえて」話題にする



yttelab_official
@yttelab



- 1、テスターは文書に頼らずテストできるようにドメイン知識を身につける
- 2、テスターはタイムボックスで仕事することに慣れる
- 3、テスター、エンジニアという境界線を持って仕事してればよいのではなくチームとして動く
- 4、私は自分の仕事をしっかりやった。ではなく、チーム全体で責任を共有する

午前11:25 · 2020年11月15日 · Twitter Web App